

平成 25 年度 学校流域プロジェクト実施結果

1. 学習支援実施結果

既存実施校 13 校については各 1 回、新規実施校 1 校（上作延小学校）については 2 回の合計 15 回、合計 1,456 名の児童に対して池のビオトープを活用した学習支援を実施した。

学校名	実施日	対象	参加人数	学習内容
新作小	H25.4.30	委員会	12	ビオトープの生きもの観察
久地小	H25.6.5	2年生	180	プールのヤゴ救出大作戦
末長小	H25.6.6	4年生	151	ビオトープの生きもの調査及び観察
久末小	H25.6.7	2年生	168	ビオトープの生きもの採取と観察
橘小	H25.6.10	5年生	191	田んぼのビオトープの生きもの救出と観察
西梶ヶ谷小	H25.6.13	3年生	120	ビオトープの生きもの観察
南原小	H25.6.28	5年生	52	メダカの食性の検証、生きもの採取と観察
久本小	H25.7.3	5年生	145	ビオトープの生きもの調査と観察
下作延小	H25.7.8	3年生	72	池とチョウのビオトープの生きもの観察
坂戸小	H25.11.7	5年生	96	ビオトープの話、ビオトープの生きもの観察
梶ヶ谷小	H25.11.8	3年生	116	ビオトープの生きもの採取と観察
高津小	H26.1.14	委員会 (5・6年生)	23	ビオトープの生きもの観察
東高津小	H28.1.8	自然グループ (5年生)	30	ビオトープの話、ビオトープの生きもの観察
上作延小 【新規校】	H25.6.20	5年生	89	池のビオトープの生きもの採取と観察
	H25.9.9	委員会 (5・6年生)	11	ビオトープの生きものものの解説、ヨシ・アシの移植

2. 市立養護学校におけるビオトープの新設

(1) 新設ビオトープの概要

市立養護学校において、校庭南東側に設置されていた使用されていない砂場を活用し、池のビオトープを再整備した。

- 施工年月：平成 25 年 10 月
- 面積：約 8 m²
- 雨水活用：建屋等からの雨水の引き込み無し



(2) ビオトープ開き（メダカの放流式）

平成 25 年 10 月 4 日（金）に、中学部生徒（1～3 年生）72 名と近隣住民の方々によるメダカの放流・植物（スイレン、クワイ、アサザ）の移植を実施した。また、メダカの放流式の前に、一部の生徒を対象にビオトープに関する授業も実施した。

- 実施日：平成 25 年 10 月 4 日（金）① 11:20～12:05 ② 13:10～14:00
- 内容：① ビオトープの話 ② メダカの放流式

- 参加者：①中学部生徒（約 20 名）と教員（約 10 名）
 ②養護学校（中学部 72 名、中西校長先生、荒井教頭先生 他教員）
 高津区役所（秋岡区長、武田副区長、宮川課長、佐藤係長、小島、荒井）
 TR ネット（小林、他 2 名程度）
 エコシティたかつ推進会議（住田委員、山田委員、笹子委員、鈴木(克)委員）
 近隣住民の方 数名
- メディア：神奈川新聞社、タウンニュース（※記事については別紙参照）



植物の移植風景



メダカの放流風景

3. 教員向け研修会の開催

ビオトープを理科や総合学習などの事業において活用していただくことを目的として、教員向けの研修会を開催した。

- 開催日時：7月25日（木）14時～16時
- 会場：梶ヶ谷小学校 理科室及びビオトープ
- 参加者：34名（区内5小学校より33名（うち梶ヶ谷小25名）、区外小学校より1名）
- 研修内容：「エコシティたかつ」の事業紹介、ビオトープの役割と環境学習事例紹介、ビオトープでの生きもの採取と観察・解説、質疑応答・意見交換会



ビオトープでの生きもの採取



理科室でのいきもの観察



完成したビオトープにメダカを放流する生徒たち
—高津区

ではこの夏、校庭の砂場を改良して約8平方分のビオトープを整備。地元住民との交流が盛んな同校では、生徒たちへの環境学習だけでなく、地域全体で環

市立養護学校 生き物集まれ ビオトープにメダカ放流

川崎市立養護学校(同市高津区)で4日、校庭に整備されたビオトープがお披露目された。同校中学部の生徒72人をはじめ、地元の人たちや行政関係者らが参加。生徒によるビオトープへのメダカの放流も行われ、多様な生き物でにぎわう地域となるよう期待に胸を膨らませた。
(服部 エレン)

いるかじつくりと水中を観察した。ビオトープの整備は、同区が2009年から進める「エコシティたかつ」推進事業の「学校流域プロジェクト」の一環。生き物や水の循環について学ぶ目的で、これまで区内14の小学校で実施してきた。

環境全に取り組みきつかけとなることを期待されている。メダカの放流の前に、スインなどの水生植物を水

中に配置した中学部3年の藤野央隆さん(15)は「これからたくさん生き物が来ることを楽しみにしています」と話していた。



メダカを放流する子どもたち

エコシティ たかつ 15番目のビオトープ 市立養護学校に完成

高津区が2008年度から取り組んでいる「エコシティたかつ」同事業の一環で区内小学校にビオトープが整備されており、このほど市立養護学校の校庭にもビオトープが完成。4日にお披露目式が行われた。

現在、区内の14小学校にビオトープがあり、養護学校で15校目となる。当日は砂場を改築してつくられた池に、スイレン、クワイ、アサザの3種の植物を浮かべ、NPO法人鶴見川流域ネットワークの協力で、子どもや地域住民によりメダカ25匹が放流された。子どもたちは「これからたくさん生物がビオトープに来ることを楽しみにしています」と挨拶。同校の中西伸夫校長は「学校は地域に解放しているので、近隣の方にも遊びに来てもらいたい」と話した。